

福生市環境基本計画実行計画④

(令和4年度計画進捗状況)

◆福生市環境基本計画実行計画

分野別施策

第1節 自然の保全・再生

- 1 自然の水循環、多摩川の保全・再生 - - - - - P 1
- 2 都市の自然の保全・再生 - - - - - P 2

第2節 潤い豊かな安心できるまちの創造

- 1 福生らしい景観、資源を活かすまちづくり - - - - - P 3
- 2 安心して歩ける道・緑のまちづくり - - - - - P 4

第3節 暮らし方の変革・地球システムへの適合

- 1 ごみの発生抑制・資源化・適正処理の推進 - - - - - P 5
- 2 地球環境問題・公害等への取り組み - - - - - P 6

計画の推進・環境まちづくりの展開

- 第1節 環境教育・学習の推進 - - - - - P 8

◆福生市環境基本計画実行計画の策定について

1 目的

この福生市環境基本計画実行計画（以下「実行計画」という。）は、福生市環境基本計画第3期中期実施計画に定める目標及び市の具体的な取り組みを着実に推進するため、実行計画として策定した。

2 実行計画の内容等

（1）本実行計画は、福生市環境基本計画第3期中期実施計画の基本目標達成のための具体的な取り組み事項及びその内容、計画年度等を明らかにした。

（2）令和4年度の実行計画の実施状況、進捗状況を評価し、表中に記載する。

【評価基準】

実施評価	
実施できた（100%）	A
おおむね実施できた（80%）	B
やや実施できた（50%）	C
未実施	D
新型コロナウイルスが原因で事業の一部又は全てが実施できず、評価結果に影響があったもの	—

（3）協働事業については★を記載する。

（4）当該予定年度以降継続して実施、検討、研究をするものは、「継続」とする。

（5）当該年度予算の[]書きは、福生スクラム・マイナス 50%協議会予算である。

3 実行計画の目標期間等

本実行計画は令和4年度において運用し、令和5年度に策定する福生市環境基本計画（本体計画）における実行計画に反映等行う。

4 推進体制

（1）本実行計画は、福生市環境事業推進会議が進行管理し、進捗状況を福生市環境審議会に報告し、意見を求める。

（2）本実行計画の進捗状況については、市のホームページにより市民に公表する。

福生市環境基本計画実行計画(令和4年度計画)実施評価一覧

分野別施策	評価	実施評価					合計
		A	B	C	D	-	
第1節 自然の保全・再生		17	1	0	0	2	20
1 自然の水循環、多摩川の保全・再生		10				2	12
2 都市の自然の保全・再生		7	1				8
第2節 潤い豊かな安心できるまちの創造		18	3	0	0	1	22
1 福生らしい景観、資源を活かすまちづくり		10	1				11
2 安心して歩ける道・緑のまちづくり		8	2			1	11
第3節 暮らし方の変革・地球システムへの適合		25	3	0	0	1	29
1 ごみの発生抑制・資源化・適正処理の推進		7				1	8
2 地球環境問題・公害等への取り組み		18	3				21
計画の推進・環境まちづくりの展開							
第1節 環境教育・学習の推進		8	2			1	11
計		68	9	0	0	5	82
評価割合(%)		82.9	11.0	0.0	0.0	20.2	100.0

実施評価:	実施の状況
A:	実施できた(100%)
B:	おおむね実施できた(80%)
C:	やや実施できた(50%)
D:	未実施
-:	新型コロナウイルス感染症が原因で、事業の一部又は全てが実施できず、評価結果に影響があったもの。

福生市環境基本計画実行計画(令和4年度計画)進捗状況

No	環境基本計画(実施計画)体系			頁	3年間の施策の方向性	事業名	担当			協働事業	年度計画(実施場所、方法、回数、関係先)	年度実施結果	実施評価	当該年度決算(円)	会計区分				SDGs主要原則
							部	課	係						款	項	目	事業	
1	自然の保全・再生	自然の水循環、多摩川の保全・再生	①水質汚濁防止	25	下水道法に基づく市内事業者に対する指導を継続します。また、特定施設以外の排出源に対する規制が課題であることから、発信時期・方法を検討するなど、周知を工夫します。	水質汚濁防止の啓発	都市建設部	道路下水道課	下水道グループ		広報による周知を実施する。		A						参画型
2	自然の保全・再生	自然の水循環、多摩川の保全・再生	②河川維持水量の確保	25	まちづくり計画課 河川維持水量について状況の変化を注視し、現況把握を続けていきます。	河川維持水量の確保要請	都市建設部	まちづくり計画課	計画グループ		河川維持水量の確保に向けて、17区市で構成する「多摩川整備促進協議会」を通じて年1回国土交通省へ要望を行う。	17区市で構成する「多摩川整備促進協議会」を通じて国土交通省へ要望を行った。幹事区市による要請行動:令和4年6月8日	A	0	土木費	都市計画費	都市計画費	都市計画事務費	透明性と説明責任
3	自然の保全・再生	自然の水循環、多摩川の保全・再生	③湧水の保護	26	関係する団体との意見交換会において、市内の湧水群及びその周辺環境の保全について情報の収集と共有を行い、異変があった際に対策を検討し、実行できる体制を整えておきます。	湧水の保護の情報収集	都市建設部 生活環境部	まちづくり計画課 環境政策課	計画グループ 緑と公園係		拝島段丘の崖線に連なる湧水群及びその周辺環境保護に向けて、多摩川沿岸の8市によって構成される「多摩川由来の崖線の緑を保全する協議会」に参加することにより、保全の取組について情報収集を行う。	「多摩川由来の崖線の緑を保全する協議会」のweb会議に参加し、拝島段丘の崖線に連なる湧水群その周辺環境保護に関し、情報収集を行った。	A						参画型
4	自然の保全・再生	自然の水循環、多摩川の保全・再生	③湧水の保護	26	大学との協働により水質検査を継続して行うとともに、結果の公表についても検討し、市民に対して湧水の現状の周知・意識啓発を図ります。	湧水地点水質調査	生活環境部	環境政策課	環境政策係	★	法政大学山崎研究室との協働により、湧水の保全を目的とした、湧水地点5か所と多摩川における現状把握と水質検査を各月で行う。	昨年度と同様に大学と調整を行い、不測の事態で未実施とならないよう実施体制を整え、実施予定どおり、6回実施した。	A						参画型
5	自然の保全・再生	自然の水循環、多摩川の保全・再生	④地下水のかん養・冠水防止	26	宅地開発事業者に対して、宅地内浸透の指導を継続するとともに、一般家庭を対象とした雨水の浸透ます、貯留槽の助成を行うことで、雨水の宅地内処理を促進します。	地下水のかん養・冠水防止	都市建設部	道路下水道課	下水道グループ		一般家庭を対象とした雨水の浸透ます、貯留槽の助成、及び宅地開発における雨水浸透施設設置の指導を実施する。	雨水浸透ます4か所(15個)641,000円、貯留槽3か所88,000円の助成を行った。開発指導を10件行った。	A	729,000	下水道事業費用	営業費	総係費		参画型
6	自然の保全・再生	自然の水循環、多摩川の保全・再生	④地下水のかん養・冠水防止	26	東京都環境確保条例に基づき、事業者に対する地下水の揚水量指導に努めます。	地下水揚水量報告	生活環境部	環境政策課	環境政策係		東京都環境確保条例に基づき、地下水揚水量報告書の提出と揚水規制業務、地盤沈下対策のため、適正使用の指導等を行う。	市内15事業所及び個人1箇所から地下水揚水量報告書の提出とともに、適正使用について指導を行った。	A						透明性と説明責任
7	自然の保全・再生	自然の水循環、多摩川の保全・再生	⑤水循環の学習促進	26	多摩川上流水再生センターの見学などにより、下水道と雨水ますと河川のつながり、地下水保全などに関する学習機会を提供します。学校での関連学習の実施時期に合わせて見学会をPRすることで参加者を拡大し、福生市の現状について併せて伝えていきます。	水循環の学習	都市建設部	道路下水道課	下水道グループ		新型コロナウイルス感染症の状況を鑑みて、小平市ふれあい下水道館への見学について検討する。	新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い実施を見送った。	-	0	下水道事業費用	営業費	総係費		参画型
8	自然の保全・再生	自然の水循環、多摩川の保全・再生	⑥水害予防対策	26	近年の自然災害などの状況を踏まえ、引き続き多摩川整備促進協議会を通じて国土交通省に対し整備促進を要望していきます。災害対策工事の際には、生き物の生息地の保全や親水性の維持など、重視すべき環境配慮内容について環境課を通じて把握するなどし、整備促進と併せて要望していきます。	災害に備えた河川整備	都市建設部	まちづくり計画課	計画グループ		近年の自然災害の状況等を踏まえ、17区市で構成する「多摩川整備促進協議会」を通じて年1回国土交通省へ要望を行う。また、災害対策工事の際には、環境政策課を通じて生物の生息地保全や親水性維持等、重視すべき内容を把握し、整備促進と併せて要望していく。※予算額はNo.2と重複	17区市で構成する「多摩川整備促進協議会」を通じて国土交通省へ要望を行った。幹事区市による要請行動:令和4年6月8日	A	0	土木費	都市計画費	都市計画費	都市計画事務費	透明性と説明責任
9	自然の保全・再生	自然の水循環、多摩川の保全・再生	⑦川の自然観察などの促進	26	市民が自然や生物への興味・理解、流域思想を持ち、より主体的に学習や保全活動に取り組みめるよう、福生水辺の楽校や小中学校における多摩川の総合学習支援など、様々なプログラムを実施します。また、環境活動が継続されるよう、環境リーダーの育成も引き続き実施します。	福生水辺の楽校「多摩川で遊ぼう」等の事業	生活環境部	環境政策課	環境政策係	★	○福生水辺の楽校「多摩川で遊ぼう」(12回)、「多摩川サポーターズ」(2回)で、多摩川に生きる生物や植物について自然観察を行い、多摩川への理解を深めるプログラムを実施するとともに、活動を通じて次なる担い手の育成を行う。 ○「小中学校における多摩川の総合学習支援」として、多摩川や自然を題材とした総合的な学習の時間において、体験活動や授業の支援を行う。(概ね30回) ○「ヤマメの卵配付事業」として、応募のあった小中学校へヤマメの卵を配付し、学校で孵化させた後、児童・生徒が多摩川へ放流する事業を実施する。(概ね小中学校4~6校より応募がある)	○福生水辺の楽校「多摩川で遊ぼう」は、全12回計画して12回実施し、参加者は544人、「多摩川サポーターズ」は全2回計画して2回実施し、参加者は96人であった。 ○「小中学校における多摩川の総合学習支援」を32回行い、延べ1,707人が参加した。 ○「ヤマメの卵配付事業」は、小中学校で合わせて7校が活動に参加した。	A	1,830,000	衛生費	保健衛生費	環境保全費	環境教育事業	参画型
10	自然の保全・再生	自然の水循環、多摩川の保全・再生	⑧河川環境保全活動の推進	26	市民と京浜河川事務所との協働で河川一斉清掃を実施し、河川植生の再生を支援します。	河川一斉清掃	生活環境部	環境政策課	緑と公園係	★	6月の環境フェスティバルに合わせ、多摩川中央公園沿い河川敷において、市民による河川清掃を実施する。また、この事業は国土交通省の多摩川クリーン作戦の一環として、京浜河川事務所と協働で事業を行う。	中止(新型コロナウイルス感染症拡大防止のため)	-						参画型
11	自然の保全・再生	自然の水循環、多摩川の保全・再生	⑧河川環境保全活動の推進	26	市民、研究者、行政が協力しカワラノギクの絶滅を回避するための「カワラノギクプロジェクト」を継続実施します。プロジェクトの市民認知度の更なる向上に努めます。	カワラノギク保全活動	生活環境部	環境政策課	環境政策係	★	多摩川に残された生育地において市民、研究者、行政が協力しカワラノギクの絶滅を回避するため、年4回の保全・復元作業を行うとともに、認知度向上のための新たな取組について検討を行う。	保全活動のボランティア募集を広報するとともに、年4回に渡って延べ83名が活動に参加した。また、認知度向上のため、市民協働による案内看板等の設置に向けた調整を行った。	A						参画型
12	自然の保全・再生	自然の水循環、多摩川の保全・再生	⑨多摩川に関する学習拠点の運営	26	水辺の楽校の拠点及び環境学習・研究などの場として、川の志民館の管理運営を行います。	川の志民館管理	生活環境部	環境政策課	環境政策係	★	多摩川をフィールドとした環境学習・研究活動や情報発信の拠点として、川の志民館の管理・運営を行う。	地元町会と連携して川の志民館を開館し、来館者に多摩川などに関する学習の場を提供した。また、機械警備等により、施設の適正管理に努め、異常の感知等、開館状況を月単位で報告させた。利用者938人 ※台風接近(8月13日)と積雪(2月11日)により2日間臨時休館した。	A	166,980	衛生費	保健衛生費	環境保全費	環境教育事業	参画型

福生市環境基本計画実行計画(令和4年度計画)進捗状況

No	環境基本計画(実施計画)体系			頁	3年間の施策の方向性	事業名	担当			協働事業	年度計画(実施場所、方法、回数、関係先)	年度実施結果	実施評価	当該年度決算(円)	会計区分				SDGs主要原則
							部	課	係						款	項	目	事業	
13	自然の保全・再生	都市の自然の保全・再生	①樹林地などの開発抑制・保全	27	宅地開発等指導要綱などにに基づき、該当する案件について緑化や植樹の指導を行います。	樹林地等の開発抑制・保全	都市建設部	まちづくり計画課	計画グループ		福生市宅地開発等指導要綱に基づき、該当の開発行為には、敷地の一部を緑化するよう指導を行う。	福生市宅地開発等指導要綱に基づき11件の協議を行い、うち該当する7件について緑化や植樹の指導を行った。	A						透明性と説明責任
14	自然の保全・再生	都市の自然の保全・再生	①樹林地などの開発抑制・保全	27	緑を守り育てる条例に基づき、保存樹林地などの指定及び奨励金の交付を通じて保全を図ります。また、定期的に所有者の状況確認を行うことで維持につなげるとともに、市内に残された樹林地の価値を市民が認識・共有できるような取組について検討し、緑を守り育てる条例に基づき、生垣設置などに係る補助を継続します。補助制度がより有効に活用されるよう、交付条件の変更を検討します。広報掲載だけでなく、近隣のハウスメーカー、工務店などに情報提供し、制度の活用を図ります。	保存樹林地等の指定等	生活環境部	環境政策課	環境政策係		福生市の緑を守り育てる条例に基づき、保存樹林地等の指定及び指定した樹林地等への奨励金交付を通じて緑の保全を行う。また、保存樹林地等の所有者の状況を確認し、保全につながるよう取り組む。	保存樹林地等の指定を次のとおり行い、奨励金の交付を通じて継続した緑の確保に努めたが、枯死等により樹木が5本減少してしまつた。宅地介在山林(3件・5筆・1,700㎡)、一般山林(2件・3筆・669㎡)、保存樹木(30件・148本)、保存生垣(123件・129か所・延長2,463m)	B	2,476,354	衛生費	保健衛生費	環境保全費	緑化推進事業	透明性と説明責任
15	自然の保全・再生	都市の自然の保全・再生	①樹林地などの開発抑制・保全	28	緑を守り育てる条例に基づき、生垣設置などにかかる費用の補助を行い、緑化の推進を図る。補助の利用につながるよう、近隣の住宅展示場や造園業者などに制度の周知を行う。また、利用が促進されるよう、交付条件の見直しについて検討する。	生垣の設置補助等	生活環境部	環境政策課	環境政策係		福生市の緑を守り育てる条例に基づき、生垣設置等にかかる費用の補助を行い、緑化の推進を図る。補助の利用につながるよう、近隣の住宅展示場や造園業者などに制度の周知を行う。また、利用が促進されるよう、交付条件の見直しについて検討する。	従前の広報、ホームページに加え、生垣の設置を行う造園業者等にも専用のチラシを作成して制度の周知を行い、次のとおりの設置補助につながつた。 1件・12m(12mのブロック塀からの変更設置)	A	100,000	衛生費	保健衛生費	環境保全費	緑化推進事業	参画型
16	自然の保全・再生	都市の自然の保全・再生	②街区公園などの維持管理	28	緑の基本計画などにに基づき、市街地の身近な公園を適正に維持管理します。また、公園ボランティアなどの情報交換を促進し、公園や雑木林における生物多様性の状況の共有、公園の特性に応じた管理方法の検討、公園設備の長寿命化に向けた方針の検討を行います。	街区公園等の維持管理	生活環境部	環境政策課	緑と公園係	★	市街地の身近な公園を適正に維持管理するために、公園ボランティアと協働で清掃、除草等を行い、公園内の美化に努める。また、公園ボランティアに対する支援(用具の支給、ボランティア保険の加入)を実施し、公園ボランティア制度の充実を図る。	・活動内容 市内公園のごみの収集、除草、樹木花壇の維持管理、情報提供等 ・実施場所 49公園 ・登録人数 403人、14団体(令和5年3月末現在)	A	52,341	土木費	都市計画費	公園費	公園管理事務	参画型
17	自然の保全・再生	都市の自然の保全・再生	③自然再生事業の展開	28	都市計画公園や都市緑地などの樹林地や草地などにおける萌芽更新など自然再生の取り組みを推進します。従来の植生に配慮し、その場所に適した手法による保全を進めます。行政、市民ボランティア、委託事業者の役割と作業分担を明確にし、効果的な取組を進めます。	自然再生事業の展開	生活環境部	環境政策課	緑と公園係	★	都市計画公園や都市緑地などの樹林地の自然再生の取り組みを推進する。また、文化の森(福生公園)、みずくらいど公園、加美上水公園についてはボランティア団体により、下草刈りや落葉清掃、外来種の除去等、樹林地の再生に取り組んでいるが、高木の剪定等、専門性が求められる場合は、業者委託により作業する等、役割分担を明確にし、効果的な取り組みを進めていく。	・福生萌芽会【文化の森(福生公園)】:年11回延べ98名 ・福生加美上水公園自然塾【加美上水公園】:年25回延べ122名 ・水喰土ボランティア【みずくらいど公園】:年27回延べ89名 ※月1回程度の定期活動の他、花いっぱい運動や落葉掃きなど随時の活動もあり。	A	0	土木費	都市計画費	公園費	公園管理事務	参画型
18	自然の保全・再生	都市の自然の保全・再生	④外来生物・野生生物への対応	28	市内のアライグマ、ハクビシンを駆逐するため、「東京都アライグマ・ハクビシン防除実施計画」に同意し、広域的な視点を踏まえ、取組を継続します。市民への周知・情報共有を強化していきます。	外来生物(アライグマ、ハクビシン)防除	生活環境部	環境政策課	環境政策係	★	市民からの情報提供を受けるため定期的な広報掲載やポスターの作成・掲示を行い、専門性を有する事業者への委託により、アライグマ、ハクビシンの捕獲防除を実施する。また、捕獲防除を効果的に進めるため、定点、検証地、希望する市民宅の三本柱で実施していく。	鼠は、定点として3か所に7基、検証地として4か所に6基、市民対応として19か所に25基、それぞれ設置して防除・捕獲した。 アライグマ24頭、ハクビシン22頭 計46頭	A	2,463,230	衛生費	保健衛生費	環境保全費	環境政策事務	参画型
19	自然の保全・再生	都市の自然の保全・再生	④外来生物・野生生物への対応	28	市内のクビアカツヤカミキリを駆逐するため、施設管理者との協力体制を徹底対応を行います。また、近隣自治体と協調し、広域的な視点を踏まえ、取組を継続します。市民への周知・情報共有を強化していきます。	外来生物(クビアカツヤカミキリ)防除	生活環境部	環境政策課	環境政策係	★	多摩川堤防防い桜並木及び柳山公園を中心に防除を行うとともに、市内公共施設及び市が管理している施設についての生息・被害状況調査を実施する。 [一部については福生スクラム・マイナス50%協議会事業として行う。]	前年度の調査結果を踏まえ、多摩川堤防防いの桜並木を中心に、次のとおり防除対策を講じた。 ・被害樹木への防除ネット設置 19か所 ・被害樹木の見回り 60日 ・被害樹木への薬剤散布 67本 ・市民説明会の実施 1回 また、令和3年度で森林総合研究所と覚書期間が終了したことから、予算を拡充して薬剤等を購入し、同研究所の助言を踏まえて、独自で生息・被害状況調査等を行った。 [一部については福生スクラム・マイナス50%協議会事業として行った。]	A	1,108,462 [31,480]	衛生費	保健衛生費	環境保全費	環境政策事務	参画型
20	自然の保全・再生	都市の自然の保全・再生	④外来生物・野生生物への対応	28	地域猫制度への理解・協力の促進とモデル地区の拡充を図るため、町会、自治会長宅をボランティア団体と共に訪問します。また、飼い主のいない猫に起因する相談、苦情などの減少を目指し、ボランティア団体が取組を継続できるよう支	地域猫去勢・不妊手術費助成金	生活環境部	環境政策課	環境政策係	★	モデル地区における飼い主のいない猫に対する去勢・不妊手術等を行い、適正な飼養管理を行っていく。また、ボランティア団体の支援等を通じて、地域猫の取り組みが拡大するよう周知を図り、制度理解を促進させる。	福生地域ネコの会定例会等で情報共有、広報等による地域猫制度等のPRを行うと共に、登録団体に対して、去勢・不妊手術費の助成を行った。 オス17頭、メス17頭 計34頭	A	323,000	衛生費	保健衛生費	環境保全費	環境政策事務	参画型

福生市環境基本計画実行計画(令和4年度計画)進捗状況

No	環境基本計画(実施計画)体系			頁	3年間の施策の方向性	事業名	担当			協働事業	年度計画(実施場所、方法、回数、関係先)	年度実施結果	実施評価	当該年度決算(円)	会計区分				SDGs主要原則
							部	課	係						款	項	目	事業	
21	潤い豊かな安心できるまちの創造	福生らしい景観、資源を活かすまちづくり	①自然・歴史・文化的景観資源の保全・活用	29	まちづくり景観推進連絡会やまちづくり景観フォーラムなど、引き続き広く市民の意見を聴取しながら、福生らしい景観の維持に努めます。	景観まちづくり事業の推進	都市建設部	まちづくり計画課	計画グループ	★	まちづくり景観推進連絡会、まちづくり景観フォーラムへの参加を通し、自然・歴史・文化的景観資源の保全・活用について研究する。	感染症拡大防止のため景観フォーラムは未実施となったが、まちづくり景観パネル展示を3月6日から10日まで市役所で実施し、団体の活動報告及び市の取組について広く周知した。	A	113,726	土木費	都市計画費	都市計画費	都市景観事業	参画型
22	潤い豊かな安心できるまちの創造	福生らしい景観、資源を活かすまちづくり	①自然・歴史・文化的景観資源の保全・活用	29	樹木診断や害虫駆除などの適切な管理を実施することにより、多摩川堤防沿いの桜の長寿命化と保全を図ります。	多摩川堤防沿桜管理	生活環境部	環境政策課	緑と公園係		多摩川堤防沿いの桜の剪定や害虫駆除を実施し、長寿命化を進め、文化的景観資源の保全を図る。	多摩川堤防沿いの桜の長寿命化と保全を図るための措置を行った。 【実施量】軽剪定80本、不要枝・剪定184本	A	2,200,000	土木費	都市計画費	公園費	公園管理事務	統合性
23	潤い豊かな安心できるまちの創造	福生らしい景観、資源を活かすまちづくり	①自然・歴史・文化的景観資源の保全・活用	29	文化財・史跡ガイドツアーなど、市民ボランティアガイドの活躍の機会を拡大するとともに、継続したフォローアップを行い、歴史・文化継承のための語り部の育成を進めます。	市民ボランティア文化財ガイド事業	教育部	生涯学習推進課	文化財係	★	市内文化財ガイドツアーを年3回実施します。	新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、参加者数を絞り、3回実施した。	A	0	教育費	社会教育費	生涯学習推進費	保護展示事業	参画型
24	潤い豊かな安心できるまちの創造	福生らしい景観、資源を活かすまちづくり	②屋外広告物の規制	30	違反広告物撤去協力員制度を継続し、道路沿線の捨て看板、街中の貼り紙など景観を阻害する違反広告物の撤去を進めます。	違反広告撤去協力員制度	都市建設部	道路下水道課	管理・交通安全対策グループ	★	市内道路において、違反広告物の撤去を行う。	市内道路/パトロールの際などに、はり札477枚を撤去した。 (令和3年度実績:はり札483枚)	A						参画型
25	潤い豊かな安心できるまちの創造	福生らしい景観、資源を活かすまちづくり	③清潔で美しいまちの維持	30	清潔で美しいまちづくり条例に基づくマナーアップ指導員を効率的に配置し、条例周知と清潔の保持に努めます。また、海ごみゼロウィークにおける全国一斉清掃活動などへの積極的な参加を行います。	清潔で美しいまちの維持	生活環境部	ごみ減量対策課	ごみ減量対策係	★	清潔で美しいまちづくりを推進し、快適な生活環境を維持するため、マナーアップ指導員による清掃活動等を実施する。また、統一美化キャンペーンの実施等による、町内清掃・地域清掃を推進する。	清潔で美しいまちづくり事業委託で市内清掃と条例周知を行った。(週3回、4人で巡回)。町会・自治会による一斉清掃の実施を支援した(21団体)。また、収集運搬委託事業者によるポイ捨てごみを収集する取組を新たに始めた(4業者)。	A	6,009,903	衛生費	清掃費	清掃費	清潔で美しいまちづくり事業	参画型
26	潤い豊かな安心できるまちの創造	福生らしい景観、資源を活かすまちづくり	③清潔で美しいまちの維持	30	道路美化ボランティア制度などにより、市民と協働した維持管理を継続します。	土木事務	都市建設部	道路下水道課	管理・交通安全対策グループ	★	市内道路において、道路美化ボランティア団体に、随時から年数回、道路清掃等を行ってもらう。道路美化ボランティア団体からの年度末の活動報告に基づき、道路清掃に必要な消耗品等の支給を行う。	34路線において清掃等を実施。また、登録されている4団体にほうき、軍手、ボランティア袋の配布を行った。 (道路美化ボランティア登録状況) 34路線、15団体、352人	A	11,104	土木費	土木管理費	土木総務費	土木管理費	参画型
27	潤い豊かな安心できるまちの創造	福生らしい景観、資源を活かすまちづくり	③清潔で美しいまちの維持	30	町会・自治会が行う、環境衛生に関する事業を含む各種事業を、交付金により支援します。	地域活性化交付金事業	生活環境部	協働推進課	協働推進・男女平等推進担当	★	地域社会のコミュニティ組織である町会・自治会が主体的に行う各種事業に対し、交付金を交付する。	32団体 7,703,143円	A	7,703,143	総務費	総務管理費	協働推進費	町会等活動支援事務	参画型
28	潤い豊かな安心できるまちの創造	福生らしい景観、資源を活かすまちづくり	④散策路ネットワークの活用	30	インバウンドを含む市外からの来訪者に福生の魅力を伝えるため、玉川上水や熊川分水をはじめとする歴史的・自然的景観資源と市街地を結ぶ散策ルートを活用したツアーの実施や案内板の書換えを行います。	観光案内板書替委託	生活環境部	シティセールス推進課	まちの魅力創造グループ		多摩・島しょ地域への観光客の誘客促進を目的として、市内駅前8箇所を毎年順番に観光案内板を書き替えており、今年度は熊川駅の書き替えを実施する。また、散策ルートを活用したツアーの実施やルートが掲載された観光ガイドマップを配布して周知をする。	熊川駅観光案内板の書換えを行い、掲載情報の更新及び見やすく分かりやすい標記とした。また、散策ルートを活用した「くるみるガイドツアー」の実施や東京観光情報センター多摩やショッピングモール等に観光ガイドマップを配布して、散策ルートの周知を行った。	A	517,000	商工費	商工費	商工費	まちの魅力推進事業	参画型
29	潤い豊かな安心できるまちの創造	福生らしい景観、資源を活かすまちづくり	⑤熊川分水を生かすまちづくり	30	市民との情報共有により、熊川分水の保全に向けた措置を講じます。	玉川上水沿いの遊歩道化	都市建設部	まちづくり計画課	計画グループ		玉川上水や熊川分水をはじめとする歴史的・自然的景観資源と市街地を結ぶ散策ルートについて、市民団体との検討のあり方を研究する。	引続き市民団体と検討している。	B						参画型
30	潤い豊かな安心できるまちの創造	福生らしい景観、資源を活かすまちづくり	⑤熊川分水を生かすまちづくり	30	熊川分水保全事業の協定に基づき、維持補修を継続して行います。	熊川分水を活かすまちづくり	都市建設部	道路下水道課	道路グループ		熊川分水保全事業の実施状況に基づき、必要に応じて補修を行う。	令和4年度は要補修箇所が無かったが、定期的なパトロールを行い、分水の保全に努めた。	A	0	土木費	道路橋りょう費	道路橋りょう費	道路橋りょう維持事務	統合性
31	潤い豊かな安心できるまちの創造	福生らしい景観、資源を活かすまちづくり	⑤熊川分水を生かすまちづくり	30	熊川分水の歴史的価値を市民が認識し、保全への理解を高める機会として、講座を企画・実施します。	地域・市民の環境学習の推進	教育部	公民館	白梅分館	★	座学およびフィールド学習による4回の講座の実施 熊川分水に親しむ会との協働事業	熊川分水に親しむ講座を1コース4回実施、23人参加。 熊川分水の歴史や自然環境について学ぶと同時に保全と活用を考える講座を熊川分水に親しむ会との協働で実施した。	A	45,000	教育費	社会教育費	公民館費	白梅会館運営事業	統合性

福生市環境基本計画実行計画(令和4年度計画)進捗状況

No	環境基本計画(実施計画)体系			頁	3年間の施策の方向性	事業名	担当			協働事業	年度計画(実施場所、方法、回数、関係先)	年度実施結果	実施評価	当該年度決算(円)	会計区分				SDGs主要原則
							部	課	係						款	項	目	事業	
32	潤い豊かな安心できるまちの創造	安心して歩ける道・緑のまちづくり	①地域バリアフリーの推進	31	公共施設のバリアフリー化について、事業担当課への情報提供を継続して行うとともに、一般市民に対する情報発信なども行い、意識の啓発に努めます。	バリアフリー及びユニバーサルデザインの推進	福祉保健部	社会福祉課	福祉総務係		バリアフリー及びユニバーサルデザインに関する情報提供を事業担当課及び一般市民に行い、普及・啓発に努める。福生市バリアフリー推進計画の進行管理を行い、達成状況を分析・評価し改善するとともに、福生市地域福祉・バリアフリー事業推進会議や福生市地域福祉推進委員会による進捗状況の評価を行い、施策を推進することができた。東京都福祉のまちづくり条例に基づき、特定都市施設の新設又は改修に際し、整備基準への適合遵守を確認し、届出を受理する。(令和4年度:1件)	福生市バリアフリー推進計画の進行管理を行い、達成状況を分析・評価し改善するとともに、福生市地域福祉・バリアフリー事業推進会議や福生市地域福祉推進委員会による進捗状況の評価を行い、施策を推進することができた。東京都福祉のまちづくり条例に基づき、特定都市施設の新設に際し、整備基準への適合遵守を確認し、届出を受理した。(令和4年度:1件)	A						参画型
33	潤い豊かな安心できるまちの創造	安心して歩ける道・緑のまちづくり	②中心商業地区の安全化・快適化	31	商店街によるにぎわい創出の取組を支援するとともに、空き店舗を活用した創業支援を行います。	商店街チャレンジ戦略支援事業費補助金 空き店舗活用補助金	生活環境部	シティセールス推進課	産業活性化グループ		商店街チャレンジ戦略支援事業費補助金を活用し、商店街が実施するスタンプラリー等のイベント事業、案内看板の書き替えなどのハード整備となる活性化事業の支援を行う。また、市内の空き店舗を活用して創業しようとする者等に対し空き店舗活用補助金を交付して創業支援を行う。	商店街チャレンジ戦略支援事業費補助金については、新型コロナウイルス感染症の影響等もあったが、当初計画されていた12事業のうち8事業が実施された。また、空き店舗活用補助金については、申請のあった10事業者に対して交付し創業支援を行った。	B	商店街チャレンジ戦略支援事業費補助金 4,433,000 空き店舗活用補助金 4,456,000	商工費	商工費	商工費	商工業振興事業	統合性
34	潤い豊かな安心できるまちの創造	安心して歩ける道・緑のまちづくり	③生活道路の安全化	32	PTA、警察、教育委員会、道路管理者などと共に点検を行い、市内の危険箇所や補修を必要とする箇所を定め、交通管理者と協議の上、安全対策を行います。	通学路点検	都市建設部	道路下水道課	管理・交通安全対策グループ	★	11月頃、教育委員会の呼びかけに応じて小学校7校で実施する。管理・交通安全対策グループ、道路グループの両係で参加予定。	9、10月に教育総務課、道路下水道課、学校、PTA、福生警察署交通課と合同で点検を行い、要望により注意電柱幕等を設置した。	A						参画型
35	潤い豊かな安心できるまちの創造	安心して歩ける道・緑のまちづくり	③生活道路の安全化	32	PTA、警察、教育委員会、道路管理者などと共に点検を行い、市内の危険箇所や補修を必要とする箇所を定め、交通管理者と協議の上、安全対策を行います。	生活道路の安全化	都市建設部	道路下水道課	道路グループ	★	狭あい道路の解消等、安全で快適な道路空間の確保に努める。また、必要な箇所については交通管理者との協議を行い、交通規制等対応をする。	通学路点検などから市内の危険箇所や補修を必要とする箇所を定め、交通管理者と協議のうえ、安全施設工事を行った。(計34件)	A	13,972,970	土木費	道路橋りょう費	道路橋りょう費	交通安全施設管理事務	参画型
36	潤い豊かな安心できるまちの創造	安心して歩ける道・緑のまちづくり	④耐震化の促進	32	耐震改修促進計画に基づき、引き続き住宅の耐震改修を呼び掛けていきます。また、緊急輸送道路沿道の建築物については、所有者との定期的な現状共有を行います。	市内の建物の耐震化	都市建設部	まちづくり計画課	計画グループ		昭和56年以前に建築された2階建て以下の木造住宅に対し、耐震診断及び耐震改修の費用の一部を助成する制度について、広報、ホームページで周知していく。	昭和56年以前に建築された2階建て以下の木造住宅に対し、耐震診断及び耐震改修の助成制度について広報及びホームページにより周知した。(令和4年度 木造住宅耐震診断 2件)	A	200,000	土木費	都市計画費	都市計画費	都市計画事業	統合性
37	潤い豊かな安心できるまちの創造	安心して歩ける道・緑のまちづくり	⑤住宅や事業所などの緑化	32	緑地開発等指導要綱などに基づき、該当する案件について緑化や植樹の指導を行います。(再掲)	住宅や事業所などの緑化	都市建設部	まちづくり計画課	計画グループ		福生市宅地開発等指導要綱に基づき、該当の開発行為に対し、敷地の一部を緑化するよう指導を行う。	福生市宅地開発等指導要綱に基づき11件の協議を行い、うち該当する7件について緑化や植樹の指導を行った。	A						透明性と説明責任
38	潤い豊かな安心できるまちの創造	安心して歩ける道・緑のまちづくり	⑥公共施設などの緑化	32	公共施設については可能な限り緑地を確保するとともに、緑化を推進します。	公共施設等の緑化	都市建設企画 財政部	まちづくり計画 公共施設マネ	計画公共施設グループ		公共施設については、可能な限り緑地を確保するとともに、緑化を推進する。	可能な限り緑地を確保できるよう、意識して業務に取り組んだが、該当案件がなかった。	B						透明性と説明責任
39	潤い豊かな安心できるまちの創造	安心して歩ける道・緑のまちづくり	⑦生産緑地の保全・活用	32	農業振興計画に基づき、生産緑地など農地を保全するとともに、営農への意欲向上を図るなど都市農業への支援策を検討します。	農業振興事業 市民農園管理事務	生活環境部	シティセールス推進課	産業活性化グループ		生産緑地など農地を保全するために、農業者向けに農地パトロールの実施や支援策の周知を行う。また、市内2つの市民農園(熊川東・南田園第二)の使用期間満了に伴う更新整備工事や老朽化に伴う基盤整備工事を計画的に実施する。	農業委員会だより「福生Farmer」や、毎月開催される西多摩農業協同組合野菜部会等で各種周知を行った。また、市内2つの市民農園(熊川東・南田園第二)について、更新にかかる整備工事を計画的に実施した。	A	1,447,160	農林水産業費	農業費	農業費	農業振興事業 市民農園管理事務	統合性
40	潤い豊かな安心できるまちの創造	安心して歩ける道・緑のまちづくり	⑧花や緑のあるまちづくり	32	花いっぱい運動を通じて、市内美化に取り組む団体及び生産者の支援を継続して行います。また、ガーデニングや家庭菜園など、家庭における緑化促進のための方策について検討します。あわせて、業務委託を通じて、環境課が管理を行う花壇を専門事業者により適正に維持管理し、花や緑があふれるまちづくりを継続します。	ふっさ花いっぱい運動等	生活環境部	環境政策課	環境政策係		市内生産者が生育した草花苗を活用した花いっぱい運動(春・秋の2回)を実施し、市内の花壇等への植栽支援や、市民参加型のコンテストを通じて、市内美化を図る。また、専門事業者へ業務委託を行い、市内花壇の適正な管理に努める。[一部については福生スクラム・マイナス50%協議会事業として行う。]	花とみどりのあるまちづくりのため、花いっぱい運動を春と秋の2回行ったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、コンテストの開催は1回となった。	-	732,000 [11,242]	衛生費	保健衛生費	環境保全費	緑化推進事業	参画型
41	潤い豊かな安心できるまちの創造	安心して歩ける道・緑のまちづくり	⑧花や緑のあるまちづくり	32	緑を守り育てる条例に基づき、生垣設置などに係る補助を継続します。補助制度がより有効に活用されるよう、交付条件の変更を検討します。広報掲載だけでなく、近隣のハウスメーカー、工務店などに情報提供し、制度の活用を図ります。(再掲)	生垣の設置補助等	生活環境部	環境政策課	環境政策係		福生市の緑を守り育てる条例に基づき、生垣設置等にかかる費用の補助を行い、緑化の推進を図る。補助の利用につながるよう、近隣の住宅展示場や造園業者などに制度の周知を行う。また、利用が促進されるよう、交付条件の見直しについて検討する。	従前の広報、ホームページに加え、生垣の設置を行う工務店等にも制度の周知を行い、次のとおりの設置補助につながった。1件・12m(12mのブロック塀からの変更設置)	A	100,000	衛生費	保健衛生費	環境保全費	緑化推進事業	参画型
42	潤い豊かな安心できるまちの創造	安心して歩ける道・緑のまちづくり	⑧花や緑のあるまちづくり	32	市内生産者の状況を踏まえて、草花苗の生産及び配布を行い、花いっぱい運動の実施と農業振興につなげます。	草花苗生産委託	生活環境部	シティセールス推進課	産業活性化グループ		春と秋に実施する花いっぱい運動で使用する草花苗について、市内農業者で組織するグリーンクラブ福生に委託し、生産及び配布により農業振興を図る。	草花苗の生産及び配布についてグリーンクラブ福生に委託し、花いっぱい運動の実施にも繋げ農業振興を図った。	A	6,731,400	農林水産業費	農業費	農業費	農業振興事業	統合性

福生市環境基本計画実行計画(令和4年度計画)進捗状況

No	環境基本計画 (実施計画)体系			頁	3年間の施策の方向性	事業名	担当			協働事業	年度計画 (実施場所、方法、回数、関係先)	年度実施結果	実施評価	当該年度決算(円)	会計区分				SDGs 主要原則
							部	課	係						款	項	目	事業	
43	暮らし方の 変革・地球 システムへ の適合	ごみの発生 抑制・資源 化・適正処 理の推進	①ごみを減 らす生活の 呼び掛け	33	広報ふっさや市ホームページ、清掃だよりに加えて、新たに開始する福生市公式アプリ内のごみ・リサイクル情報を活用して、情報発信に努めます。特に、食品ロスやプラスチックごみについての家庭における発生及び排出抑制に関する情報発信を強化していきます。	ごみを減らす生活の呼び掛け	生活環 境部	ごみ減 量 対策課	ごみ減 量 対策係		清掃だより、広報ふっさ、福生市公式アプリ等を活用し、ごみの発生抑制及び適正な分別排出、減量化・資源化を推進する。また、食品ロス及びプラスチックごみ削減に関する情報発信等に努める。	清掃だより、広報ふっさ、福生市公式アプリ等を活用し、ごみの発生抑制、適正な分別排出、減量化を推進するとともに、ごみ・資源収集情報を掲載した。また、食品ロス削減及びプラスチックごみ削減のweb展示を継続実施するとともに、フードドライブを本年実施とし、食品ロス削減の推進を図った。	A	640,428	衛生費	清掃費	清掃費	清掃事務	参画型
44	暮らし方の 変革・地球 システムへ の適合	ごみの発生 抑制・資源 化・適正処 理の推進	②事業系 一般廃棄 物の減量	33	提出された廃棄物・再利用物処理計画書への指導や収集段階における直接指導により、事業系一般廃棄物の減量化・資源化及び適正排出に努めます。	事業系一般廃棄物の減量	生活環 境部	ごみ減 量 対策課	ごみ減 量 対策係		事業系一般廃棄物処理計画書の提出促進と適正排出への指導、減量化・資源化への働きかけを実施する。	各事業所から事業系一般廃棄物処理計画書を提出していただくことにより、ごみ減量と資源化を呼び掛けた。	A	262,240	衛生費	清掃費	清掃費	収集運搬 事業	統合性
45	暮らし方の 変革・地球 システムへ の適合	ごみの発生 抑制・資源 化・適正処 理の推進	③ごみに関 する学習機 会の提供	33	小学4年生の社会科学習に活用できる副読本「ごみのゆくえ」の作成において、ごみ処理・資源化の流れに加え、家庭におけるごみや資源の発生及び排出抑制の推進に向けた内容を充実させます。	ごみに関する学習機会の提供	生活環 境部	ごみ減 量 対策課	ごみ減 量 対策係		小学4年生の社会科学習に活用するため「ごみのゆくえ」を作成し、環境教育を推進する。	小学4年生の社会科学習に活用するため「ごみのゆくえ」を作成し、市内の小学4年生に配布した(市内7校)。	A	44,000	衛生費	清掃費	清掃費	ごみ減量対 策事業	参画型
46	暮らし方の 変革・地球 システムへ の適合	ごみの発生 抑制・資源 化・適正処 理の推進	④分別によ る資源化	34	ごみと資源の適正な分別排出と資源化へ向けて、適正排出を周知徹底するとともに、食品ロスやプラスチック削減などの取組を継続実施します。	分別による資源化	生活環 境部	ごみ減 量 対策課	ごみ減 量 対策係		ごみ・リサイクルカレンダー、ごみ・資源分別一覧、公式アプリ等を活用し、ごみと資源の適正な分別排出の周知を図るとともに、廃棄物減量監視事業を実施する。	ごみ・リサイクルカレンダー、ごみ・資源分別一覧、公式アプリ、市ホームページ等を活用し、ごみと資源の適正な分別排出の周知を図るとともに、廃棄物減量監視事業を実施した。	A	14,698	衛生費	清掃費	清掃費	収集運搬 事業	参画型
47	暮らし方の 変革・地球 システムへ の適合	ごみの発生 抑制・資源 化・適正処 理の推進	⑤バイオマ ス資源化	34	食品ロス削減に向けた更なる周知を進めるとともに、生ごみ堆肥化容器貸与制度などの活用促進に向けて市民へ広く周知し、家庭における生ごみの発生及び排出抑制、資源化を促進します。	バイオマス資源化	生活環 境部	ごみ減 量 対策課	ごみ減 量 対策係		清掃だより、広報ふっさ等による、食品ロス削減の啓発活動を実施する。また、生ごみの減量化・資源化を促進するため、生ごみ堆肥化容器の貸与等を実施する。	フードドライブの実施 142件 980kg 生ごみ堆肥化容器貸与 14基 生ごみ処理機器購入費補助 10基	A	397,300	衛生費	清掃費	清掃費	ごみ減量対 策事業	参画型
48	暮らし方の 変革・地球 システムへ の適合	ごみの発生 抑制・資源 化・適正処 理の推進	⑥地域リサ イクルシス テムの強化	34	地域での資源リサイクルシステムとして、資源回収実施団体報償金制度を継続します。	地域リサイクルシステムの強化	生活環 境部	ごみ減 量 対策課	ごみ減 量 対策係		地域の資源回収実施団体を支援し、地域リサイクルシステムを強化する。	資源回収実施団体報償金交付事業 63団体、実施回数814回	A	8,968,415	衛生費	清掃費	清掃費	ごみ減量対 策事業	参画型
49	暮らし方の 変革・地球 システムへ の適合	ごみの発生 抑制・資源 化・適正処 理の推進	⑥地域リサ イクルシス テムの強化	34	市民団体によるフリーマーケットの広報協力を継続します。	フリーマーケットの開催支援	生活環 境部	シティ セールス 推進課	産業活 性化グ ループ		市内で実施しているフレンドシップパークフリーマーケットについて、広報・HPで周知する。	新型コロナウイルス感染症の状況を鑑み、フレンドシップパークフリーマーケットは全て中止となったため、広報やHPでの周知は実施していない。	-						参画型
50	暮らし方の 変革・地球 システムへ の適合	ごみの発生 抑制・資源 化・適正処 理の推進	⑦適正な中 間処理・最 終処分 の推進	34	リサイクルセンターにおける不燃廃棄物などの資源化を継続して実施し、選別の徹底による適正処理に努めます。	リサイクルセンターの適正な運営	生活環 境部	ごみ減 量 対策課	リサイ クルセ ンター 一係		不燃廃棄物の資源化については専門業者に処理委託を行っており、毎朝の業務連絡会等において、選別の徹底による適正処理について引き続き指導する。	毎朝、業務連絡会を実施。必要に応じて随時、選別の徹底による適正処理について指導した。	A	131,677,046	衛生費	清掃費	清掃費	廃棄物処 理費	透明性と説 明責任

福生市環境基本計画実行計画（令和4年度計画）進捗状況

No	環境基本計画 (実施計画)体系			頁	3年間の施策の方向性	事業名	担当			協働事業	年度計画 (実施場所、方法、回数、関係先)	年度実施結果	実施評価	当該年度決算(円)	会計区分				SDGs 主要原則
							部	課	係						款	項	目	事業	
51	暮らし方の 変革・地球 システムへの 適合	地球環境 問題・公害 等への取組	①低炭素 型ライフス タイルへの 転換	36	市内の一般家庭における効果的・効率的なエネルギー利用を促すため、市民団体や事業者と連携して具体的な省エネ対策に関する情報提供を強化します。再生可能エネルギーを供給する新電力への切替え、省エネ家電への買替え促進策(助成、キャンペーン、家電診断など)、ZEHや省エネ住宅、省エネルギーフォームなどに関する情報提供を事業者と連携して住宅タイプ別に進め、快適な暮らしと低炭素型ライフスタイルの両立を促します。	「かんきょう通信」等による 情報提供	生活環 境部	環境政 策課	環境政 策係	★	市民との協働により編集を行う「かんきょう通信」等を通じて、省エネ対策や再生可能エネルギーへの切り替え等、一般家庭における地球環境と家計に有益な情報の提供を行う。	広報ふっさを通じて、東京都が行う省エネ家電をお得に買い替えてもらえる「東京ゼロエミポイント」について周知するとともに、市民協働により編集・発行する「かんきょう通信(3月第51号)」を通じて、環境基本計画の改定作業について、市民協働により進めていることを参加市民の声を交えて掲載し、普及・啓発を行った。	A	371,195	衛生費	保健衛生 費	環境保全 費	環境政策 事務	参画型
52	暮らし方の 変革・地球 システムへの 適合	地球環境 問題・公害 等への取組	②事業活 動における 地球温暖 化対策	36	市内の民生部門排出量は、業務部門が家庭部門の約2倍となっていることから、中小規模事業者に対し、活用可能な支援制度を積極的に情報提供し、事業部門でのCO2削減対策を促進します。	事業所における省エネ エネルギー関連情報等の提供	生活環 境部	環境政 策課	環境政 策係		国や都が行う、低炭素型の事業活動への支援策等の情報を収集し、事業者により活用が促進されるよう、広報ふっさ等を通じて情報発信を行う。	工場、指定作業場の届出に関する相談や受付の際、東京都地球温暖化防止活動推進センター(クール・ネット東京)などの補助金・助成金についての情報提供を随時行った。	B						透明性と説明責任
53	暮らし方の 変革・地球 システムへの 適合	地球環境 問題・公害 等への取組	③市有施 設における 低炭素化 の促進	37	第4次地球温暖化対策実行計画に基づき、公共施設におけるエネルギー利用の効率化の取組を継続します。また、あらゆる事務事業において省エネルギーなどの環境配慮を基本とし、市民への情報発信を積極的に行います。	福生市環境マネジメントシ ステム「F-e」を通じた取組	生活環 境部	環境政 策課	環境政 策係		新型コロナウイルス感染拡大防止のため、昨年度のリモートによる監査等、従前の対面による監査の質を低下させないよう、また監査の持つ意義・意味が損なわれないよう、市民監査委員の意見を踏まえ適切に実施していく。	コロナ禍のため、換気と空調を並行して行うなど、定常状態の数値と大きく乖離が生じてしまっていることから、数値の確認については必要最低限とし、環境配慮の好事例を評価し、水平展開することで取組の拡大を図るなど、昨年度同様にリモートを活用し、市民意見を踏まえて有意義な監査となるよう取り組んだ。	A	806,000	衛生費	保健衛生 費	環境保全 費	環境政策 事務	参画型
54	暮らし方の 変革・地球 システムへの 適合	地球環境 問題・公害 等への取組	③市有施 設における 低炭素化 の促進	37	市有施設省エネルギー・再生可能エネルギー推進指針を徹底し、設備更新時には省エネ・再エネ機器の導入を進めます。また、公共施設の移転・新築などに際しては、エネルギー効率を重視した建築設計と、建物のみならず外構緑化、動線の配慮など、周辺環境を利活用した快適	消防施設管理事務	総務部	防災危 機管理 課	防災危 機管理 係		消防団詰所空調設備改良工事(第一分団)	既設空調設備の老朽化に伴い、空調機器の更新を行いました。環境に配慮した効率的な機器を選定しました。	A	1,794,100	消防費	消防費	消防施設 費	消防施設 管理事務	統合性
55	暮らし方の 変革・地球 システムへの 適合	地球環境 問題・公害 等への取組	③市有施 設における 低炭素化 の促進	37	市有施設省エネルギー・再生可能エネルギー推進指針を徹底し、設備更新時には省エネ・再エネ機器の導入を進めます。また、公共施設の移転・新築などに際しては、エネルギー効率を重視した建築設計と、建物のみならず外構緑化、動線の配慮など、周辺環境を利活用した快適	リサイクルセンター管理事 務	生活環 境部	ごみ減 量 対策課	リサイ クルセ ンター 係		空調設備改良工事	リサイクルセンター内の老朽化した空調機を最新機器に更新するため、空調設備改良工事を行った。	A	16,689,200	衛生費	清掃費	再資源化 推進費	リサイク ルセ ンター 管理 事務	統合性
56	暮らし方の 変革・地球 システムへの 適合	地球環境 問題・公害 等への取組	③市有施 設における 低炭素化 の促進	37	市有施設省エネルギー・再生可能エネルギー推進指針を徹底し、設備更新時には省エネ・再エネ機器の導入を進めます。また、公共施設の移転・新築などに際しては、エネルギー効率を重視した建築設計と、建物のみならず外構緑化、動線の配慮など、周辺環境を利活用した快適	福東会館管理事務	生活環 境部	協働推 進課	協働推 進・男女 平等推 進担当		空調設備改良工事	20年以上経過し老朽化した2階・3階の空調機を最新機器に更新するため、工事請負契約の締結を行った。	A	5,129,300	総務費	総務管理 費	福東会館 管理費	福東会館 管理事務	統合性
57	暮らし方の 変革・地球 システムへの 適合	地球環境 問題・公害 等への取組	③市有施 設における 低炭素化 の促進	37	市有施設省エネルギー・再生可能エネルギー推進指針を徹底し、設備更新時には省エネ・再エネ機器の導入を進めます。また、公共施設の移転・新築などに際しては、エネルギー効率を重視した建築設計と、建物のみならず外構緑化、動線の配慮など、周辺環境を利活用した快適	小学校防音機能復旧(復 機)事業	教育部	教育総 務課	教育総 務係		令和3年度～令和4年度 福生第六小学校(校舎)工事 令和4年度 福生第七小学校 実施設計	老朽化した空調機を最新機器に更新するため、福生第六小学校の空調機の更新工事を実施した。また、福生第七小学校(校舎・講堂)の空調機の実施設計を行った。	A	222,509,545	教育費	小学校費	学校管理 費	小学校防 音機能復 旧(復機) 事業	統合性
58	暮らし方の 変革・地球 システムへの 適合	地球環境 問題・公害 等への取組	③市有施 設における 低炭素化 の促進	37	市有施設省エネルギー・再生可能エネルギー推進指針を徹底し、設備更新時には省エネ・再エネ機器の導入を進めます。また、公共施設の移転・新築などに際しては、エネルギー効率を重視した建築設計と、建物のみならず外構緑化、動線の配慮など、周辺環境を利活用した快適	中学校防音機能復旧(復 機)事業	教育部	教育総 務課	教育総 務係		令和3年度～令和4年度 福生第三中学校(校舎)工事	老朽化した空調機を最新機器に更新するため、福生第三中学校(校舎)の更新工事を行った。	A	89,512,803	教育費	中学校費	学校管理 費	中学校防 音機能復 旧(復機) 事業	統合性
59	暮らし方の 変革・地球 システムへの 適合	地球環境 問題・公害 等への取組	③市有施 設における 低炭素化 の促進	37	市有施設省エネルギー・再生可能エネルギー推進指針を徹底し、設備更新時には省エネ・再エネ機器の導入を進めます。また、公共施設の移転・新築などに際しては、エネルギー効率を重視した建築設計と、建物のみならず外構緑化、動線の配慮など、周辺環境を利活用した快適	地域体育館管理運営事業	教育部	スポーツ 推進課	スポーツ 推進係		空調設備改良工事(熊川地域体育館)	経年劣化により不具合が起っていた空調機器4台の更新工事を実施した。	A	3,297,800	教育費	保健体育 費	地域体育 館費	地域体育 館管理運 営事業	統合性
60	暮らし方の 変革・地球 システムへの 適合	地球環境 問題・公害 等への取組	③市有施 設における 低炭素化 の促進	37	市有施設省エネルギー・再生可能エネルギー推進指針を徹底し、設備更新時には省エネ・再エネ機器の導入を進めます。また、公共施設の移転・新築などに際しては、エネルギー効率を重視した建築設計と、建物のみならず外構緑化、動線の配慮など、周辺環境を利活用した快適	中央図書館改良事業	教育部	図書館	管理係		令和4年度～令和5年度 工事	老朽化した空調設備等を更新し、環境負荷低減を図る中央図書館改良工事に着手しました。	A	238,134,247	教育費	社会教育 費	図書館費	中央図書 館改良事 業	統合性

福生市環境基本計画実行計画(令和4年度計画)進捗状況

No	環境基本計画(実施計画)体系			頁	3年間の施策の方向性	事業名	担当			協働事業	年度計画(実施場所、方法、回数、関係先)	年度実施結果	実施評価	当該年度決算(円)	会計区分				SDGs主要原則
							部	課	係						款	項	目	事業	
61	暮らし方の変革・地球システムへの適合	地球環境問題・公害等への取組	③市有施設における低炭素化の促進	37	車両更新時には燃費性能の優れた車両を導入するとともに、公用車使用の抑制(自転車利用、ルート設定の工夫など)とやむを得ず公用車を使用する場合のエコドライブを徹底します。	車両管理事務	総務部	契約管財課	管財係		市内を移動する際は、極力、自転車の利用を推進し、公用車使用の抑制に努めます。また、公用車を使用する場合は、アイドリングストップ等、エコドライブの徹底を図ります。	市内を移動する際は、極力、自転車の利用を推進し、公用車使用の抑制に努めました。公用車を使用する場合は、アイドリングストップ等、エコドライブ推進に努めました。	B						透明性と説明責任
62	暮らし方の変革・地球システムへの適合	地球環境問題・公害等への取組	③市有施設における低炭素化の促進	37	車両更新時には燃費性能の優れた車両を導入するとともに、公用車使用の抑制(自転車利用、ルート設定の工夫など)とやむを得ず公用車を使用する場合のエコドライブを徹底します。	車両管理事務	生活環境部	環境政策課	環境政策係		財政課や車両所管課と調整を行い、補助金等を活用して電気自動車への買い替えを進める。また、市内を移動する際は、極力、自転車の利用を推進するとともに、公用車使用の際はガソリン車ではなく電気自動車を率先して利用し、温室効果ガスの排出抑制に努める。	グリーンエネルギー自動車導入事業補助金を活用し、ガソリン自動車から電気自動車への買い替えを3台行った。市内移動は徒歩や自転車を使用するとともに、環境(政策)課が所管する電気自動車を積極的に活用し、移動に伴う環境負荷低減に努めた。	A						透明性と説明責任
63	暮らし方の変革・地球システムへの適合	地球環境問題・公害等への取組	③市有施設における低炭素化の促進	37	森林整備及びその促進に関する財源として創設された森林環境譲与税の活用を通じて、森林吸収源対策につながる多摩産材を利用した公共施設等の整備を促進します。	積立金(森林環境譲与税基金)	企画財政部	財政課	財政係		公共施設等の整備にあたり、多摩産材を利用することが可能な場合、森林環境譲与税、及び森林環境譲与税基金の活用を検討します。活用事業がない場合は、森林環境譲与税を基金へと積み立て、後年の活用に備えます。	活用事業がなかったため、森林環境譲与税(6,190,000円)、及び森林環境譲与税基金積立金利子(128円)を後年の需要に備え全額基金へ積み立てた。	A	6,190,128	諸支出金	基金費	森林環境譲与税基金費	積立金	透明性と説明責任
64	暮らし方の変革・地球システムへの適合	地球環境問題・公害等への取組	④交通の省エネ化	37	自転車を利用しやすいまちづくりとして、自転車駐輪場の維持管理、放置自転車対策(放置防止指導、撤去、保管場所での管理業務など)、自転車ナビマークの維持補修を含めた道路の整備等を継続するとともに、自転車乗車時のマナー向上に向けた情報発信や学習機会の提供	放置自転車対策事務	都市建設部	道路下水道課	管理・交通安全対策グループ		放置自転車撤去業務は日、祝日、年末年始を除く毎日実施予定。	放置自転車撤去業務を、日曜、祝日、年末年始以外、及び荒天時が予想される場合を除いた292日実施した。	A	13,448,569	土木費	道路橋りょう費	交通安全管理費	交通安全管理費	参画型
65	暮らし方の変革・地球システムへの適合	地球環境問題・公害等への取組	④交通の省エネ化	37	自転車を利用しやすいまちづくりとして、自転車駐輪場の維持管理、放置自転車対策(放置防止指導、撤去、保管場所での管理業務など)、自転車ナビマークの維持補修を含めた道路の整備等を継続するとともに、自転車乗車時のマナー向上に向けた情報発信や学習機会の提供を行います。	自転車のまちづくり	都市建設部	道路下水道課	道路グループ		福生警察署と協力して、自転車ナビマーク等の設置を推進し、自転車走行空間の確保に取り組む。	自転車走行空間の確保の為、自転車ナビマークの補修を22箇所実施した。	A	663,299	土木費	道路橋りょう費	道路橋りょう費	交通安全施設管理事務	統合性
66	暮らし方の変革・地球システムへの適合	地球環境問題・公害等への取組	④交通の省エネ化	37	サイクルシェアリングシステムについては、経年劣化の状況や利用拡充及び広域連携を含め、今後の実施方法について検討を行います。	サイクルシェアリング事業	生活環境部	環境政策課	環境政策係		新たに導入したサイクルシェアリングの仕組みが市内で定着し、利用回数が増加するようPR活動を行うとともに、近隣自治体との連携を促進させ、更なる広域連携を図る。	広域連携が可能となる新しいサイクルシェアリングの仕組み導入するとともに、随時事業者と調整を行い、貸出・返却を行うステーションの追加設置等を進めるなど、利便性の向上を図った。また、近隣自治体と連携して広域利用を促進するキャンペーンを行い、新しい仕組みの有用性を周知することで、利用者の獲得に取り組んだ。	A	4,800,000	衛生費	保健衛生費	環境保全費	環境政策事務	統合性
67	暮らし方の変革・地球システムへの適合	地球環境問題・公害等への取組	④交通の省エネ化	37	公共交通機関などへの働き掛けにより、公共交通の利便性向上を目指します。	公共交通の利用促進	都市建設部	まちづくり計画課	計画グループ		JRを含む公共交通機関の利用促進のため、利便性向上等、関係する協議会等を通じ要請していく。	JRを含む公共交通機関の利用促進のため、利便性向上等、関係する協議会等を通じ要請した。(多摩地域都市モノレール等建設促進協議会、三鷹立川間立体化複々線促進協議会、八高線活性化促進協議会)	A	73,000	土木費	都市計画費	都市計画費	都市計画事務	統合性
68	暮らし方の変革・地球システムへの適合	地球環境問題・公害等への取組	⑤気候変動への適応	37	気候変動により、市民生活に重大な影響を及ぼす可能性のある事項について、影響事例調べなどを通じた市民意識の喚起、自助互助の手法や外国人住民・旅行者に対する情報発信などについて検討します。また、グリーンインフラとしての活用を踏まえた、街路樹、公園樹木などの管理に	ふっさ環境市民会議等への支援	生活環境部	環境政策課	環境政策係		市民団体が行う、地球温暖化や気候変動を題材にしたセミナー等の実施を支援し、当事者及び参加者に対する意識の醸成を図る。[福生スクラム・マイナス50%協議会事業として行う。]	12月の「地球温暖化防止月間」に合わせて、気候変動と災害に関するセミナーを開催するとともに、市役所ロビーで「市民が進める省エネ」をテーマに、展示やリーフレットの配布について、市民団体と協働して実施した。	A	[34,562]					参画型
69	暮らし方の変革・地球システムへの適合	地球環境問題・公害等への取組	⑤気候変動への適応	37	気候変動により、市民生活に重大な影響を及ぼす可能性のある事項について、影響事例調べなどを通じた市民意識の喚起、自助互助の手法や外国人住民・旅行者に対する情報発信などについて検討します。また、グリーンインフラとしての活用を踏まえた、街路樹、公園樹木などの管理について検討します。	歩道上の植栽ます等の管理	都市建設部	道路下水道課	道路グループ		歩道上の植栽ますを適正に管理・維持することで、樹木による蒸発散効果で気温の上昇を抑制する。	街路樹等の適正な管理を行った。(計25件)	A	21,610,078	土木費	道路橋りょう費	道路橋りょう費	道路橋りょう維持事務	統合性
70	暮らし方の変革・地球システムへの適合	地球環境問題・公害等への取組	⑤気候変動への適応	37	気候変動により、市民生活に重大な影響を及ぼす可能性のある事項について、影響事例調べなどを通じた市民意識の喚起、自助互助の手法や外国人住民・旅行者に対する情報発信などについて検討します。また、グリーンインフラとしての活用を踏まえた、街路樹、公園樹木などの管理について検討します。	公園内の樹木等の管理	生活環境部	環境政策課	緑と公園係		公園整備や修繕の際は、雨水の地下浸透を促すと共に、蒸発散効果で気温の上昇も抑制するため、公園内の樹木を適正に維持・管理する。	公園内の樹木について適正に維持・管理を実施した。	A	49,352,583	土木費	都市計画費	公園費	公園管理事務	統合性
71	暮らし方の変革・地球システムへの適合	地球環境問題・公害等への取組	⑤気候変動への適応	37	防災マップの配布や出前講座などでのマイ・タイムライン作成の啓発など、災害への備えに関する周知を強化していきます。	風水害への備えに関する啓発	総務部	防災危機管理課	防災危機管理係	★	「福生市防災マップ・多摩川洪水・内水ハザードマップ」について、市民へ広く周知するとともに、市政出前講座等において「東京マイ・タイムライン」を活用した風水害への備えの啓発に努める。《ハザードマップの配布について》 ・配布場所:防災危機管理課、総合窓口課 ・配布方法:市内転入者及び希望者に対し、随時配布、ホームページへの掲載等	福生市防災マップ・多摩川洪水・内水ハザードマップについて、市公式ホームページに掲載するとともに、窓口において市内転入者や希望者に対して随時配布を行いました。また、水害に関する市政出前講座の講演依頼はありませんでしたが、東京都の研修等に参加し、より効果的な住民啓発について研究を行いました。	B					透明性と説明責任	

福生市環境基本計画実行計画(令和4年度計画)進捗状況

No	環境基本計画 (実施計画)体系		頁	3年間の施策の方向性	事業名	担当			協働 事業	年度計画 (実施場所、方法、回数、関係先)	年度実施結果	実施評価	当該年度決算(円)	会計区分				SDGs 主要原則
						部	課	係						款	項	目	事業	
72	環境教育・ 学習の推進		38	①学校での 環境教育の推進	環境学習教員研修	生活環境部	環境政策課	環境政策係		新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止となった昨年度分を含め、教員1年目(初任者)、2年目の教員及び環境教育に関心のある小・中学校教員を対象に、福生市の自然と環境について学ぶ環境学習教員研修を実施する。	令和3年に中止した2日分の予算も確保し、参加できなかった教員への対応を含め、計4日間研修を実施して、教育現場における環境学習の推進に努めた。	A	102,000	衛生費	保健衛生費	環境保全費	環境教育事業	参画型
73	環境教育・ 学習の推進		38	①学校での 環境教育の推進	理科支援員の配置	教育部	教育指導課	指導係		小・中学校の理科授業における体験的な学習を充実させるため、観察・実験等の支援を行う理科支援員を配置する。 〔配置対象学年〕 小学校(5・6年)、中学校(全学年)	理科支援員活動時間:982時間	B	1,052,700	教育費	教育総務費	教育指導管理費	理科教育推進事業	統合性
74	環境教育・ 学習の推進		38	①学校での 環境教育の推進	学校における環境教育の推進	教育部	教育指導課	指導係		小学校4年生の社会科学習において、「ごみのゆくえ」(環境課作成)を活用。	・小学4年生の社会科学習において、資料として「ごみのゆくえ」を活用。	A						統合性
75	環境教育・ 学習の推進		38	①学校での 環境教育の推進	学習指導市民講師による指導	教育部	教育指導課	指導係		コミュニティ・スクール委員と連携し、学習指導市民講師(NPO法人自然環境アカデミー等)による指導を実施する。	学習活動市民講師活動回数:1回	A	3,000	教育費	教育総務費	教育指導管理費	教育指導事務	統合性
76	環境教育・ 学習の推進		39	②地域における 環境学習の推進	ふっさ環境フェスティバルの実施等	生活環境部	環境政策課	環境政策係		新型コロナウイルス感染拡大防止を鑑みて行った昨年度の実績を踏まえた上で、更なる環境問題に対する参加者の認識を深め、意識の醸成を図る貴重な機会として「第20回ふっさ環境フェスティバル」を開催する。 また、目的達成のための企画・運営については、ふっさ環境フェスティバル実行委員会を中心に、その他市民や事業者を巻き込んで協働により行う。〔一部については福生スクラム・マイナス50%協議会事業として行う。〕	令和3年度の取組を拡充し、保護猫についての講演をYOUTUBEでライブ配信するなど、SNS等を活用した、場所を問わずに参加できるプログラムを実施するとともに、感染症の状況に注視して、事前申込み制で蜜を回避した来場型イベントもあわせて開催するなど、多様な方法で参加が可能な「ふっさ環境フェスティバル」を開催し、環境問題に関わる意識の醸成に努めた。	A	1,500,000 [802,455]	衛生費	保健衛生費	環境保全費	環境教育事業	参画型
77	環境教育・ 学習の推進		39	②地域における 環境学習の推進	・夏休み子ども見学会 ・わくわく土曜日「自然観察会」	教育部	生涯学習推進課	文化財係		・葛西水族園等近隣博物館、年1回 ・玉川上水等市内各所、年2回	夏休み子ども見学会は、新型コロナウイルスの感染状況を踏まえて中止し、対策を講じた上で代替事業を実施した。 自然観察会は年2回実施した。	—	20,000	教育費	社会教育費	生涯学習推進費	保護展示事業	参画型
78	環境教育・ 学習の推進		39	②地域における 環境学習の推進	地域・市民の環境学習の推進	教育部	公民館	公民館係		環境講座の実施(2コース4~6回) →生活に身近な視点から、国際社会が直面している環境問題を考える事業と、地域の環境を知るフィールドワークやワークショップなどを実施する。	3コース5回の環境講座を実施。過去から現在における地球環境問題の歴史や取組について環境問題全般について学ぶ講座と、小中学生を対象として、鳥や昆虫の生態や特徴、自然とのかかわり等から福生市の自然環境を探っていく講座を実施した。	A	150,000	教育費	社会教育費	公民館費	公民館本館運営事業	統合性
79	環境教育・ 学習の推進		39	②地域における 環境学習の推進	地域・市民の環境学習の推進	教育部	公民館	白梅分館		片倉跡地(森田製系跡地)において、熊川分水の自然や歴史的な景観を観察し、分水と地域との関りについて学ぶフィールドワークを実施する。 1回 NPO自然環境アカデミー、熊川分水に親しむ会との協働事業	熊川分水たんけん隊を1コース1回実施、21人参加。 NPO法人自然環境アカデミー、熊川分水に親しむ会との協働事業。	A	40,000	教育費	社会教育費	公民館費	白梅会館運営事業	統合性
80	環境教育・ 学習の推進		39	②地域における 環境学習の推進	地域・市民の環境学習の推進	教育部	公民館	松林分館		地球温暖化について、日々の生活から改善できる点や見直すべき点について、改めて考える機会となる事業を実施する。	気候変動に伴う異常気象とそれによって生じる水害に着目すると、両者は分けて考えずに一緒に考えて学んだ方が深い理解が得られるのではないかということで、令和4年度は初めて環境防災講座という形で、環境学習と防災学習を織り込みながら総合的に学びを深めていくことをねらいとして講座を実施した。F-e監査委員でもある小澤春奈氏を講師として招き、環境に関する講座は1コース3回を実施した。	A	60,000	教育費	社会教育費	公民館費	松林会館運営事業	統合性
81	環境教育・ 学習の推進		39	②地域における 環境学習の推進	地域・市民の環境学習の推進	教育部	公民館	白梅分館		身近な多摩川にある木を使ったものづくりを通して自然に触れ、環境問題を考える講座を実施する。 1コース 3回	環境講座「きて、みて、さわって親子でレッツ木育!」 1コース3回実施、47人参加。	A	38,000	教育費	社会教育費	公民館費	白梅会館運営事業	統合性
82	環境教育・ 学習の推進		39	③環境学習を支える 人材の確保	協働による環境施策推進の担い手の確保	生活環境部	環境政策課	環境政策係	★	継続して福生水辺の楽校「多摩川サポーターズ」の活動などを通じて担い手の育成及び環境リーダーへの認定を通じて、人材の確保と活躍の場の提供に努める。 また、環境基本計画の改定等、新しい機会に市民参画を促し、これからの地球環境保全等の担い手の確保に努める。	「多摩川サポーターズ」は、計画通り2回実施することができたが、参加者の低年齢化等により、環境リーダーの育成には直結しなかった。また、環境基本計画改定のための市民会議を公募等により組織し、5回の会議を通じて市民参加による改定作業を行い、次なる担い手の育成に努めた。	B	1,830,000	衛生費	保健衛生費	環境保全費	環境教育事業	参画型